

郷土づくりの担い手情報紙

BUILDERS VOICE

ビルダース・ボイス

44

SUMMER
2002.7



掛塚灯台



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(社)袋井建設業協会

備えあれば憂いなし

東海地震

木造住宅の耐震補強



阪神・淡路大震災から8年（被災現場）



プロジェクト TOUKAI-0 スタート (東海・倒壊)

進む木造住宅の耐震補強「東海ゼロ」がスタート
 予想される東海地震に向けた県の住宅耐震補強プロジェクト「TOUKAI 東海・倒壊 ゼロ」の柱である老朽木造住宅補強工事への補助制度が、今年度からスタートしました。これまで、全県下で進められてきた老朽木造住宅、我が家の簡易耐震診断、県耐震診断補強相談士の派遣・診断につき、安全な住宅への補強工事を進める上での補助制度で、一棟当り一律30万円を補助するというものです。ス

スタートしたばかりですが、実施主体の市町村には地域住民から問い合わせが多く、関心の高さをうかがわれています。これまで官公庁施設の耐震補強が進められてきましたが、遅れ気味と言われてきた民間個人住宅の耐震補強に補助金がつくことで、東海地震への防災体制が一層整備されることとなります。今回は、この住宅耐震補強プロジェクト「TOUKAI ゼロ」にスポットをあて、袋井建設業協会管内にある市町村の取り組み等をまとめてみました。備えあれば、憂いなし、です。社会基盤の整備にかかわる我々も、地域の方と力を合わせ、倒壊「ゼロ」に向け、この制度のPRに努めていきたいと思います。

4月23日、国の中央防災会議（会長・小泉純一郎首相）は、東海地震が発生した時の防災対策強化地域を23年ぶりに見直し、これまでの6県167市町村から8都県263市町村に拡大、新たに三重県の志摩半島、東京都の伊豆諸島などを追加しました。強化地域指定は、地震発生時、震度6以上の揺れが予想される、高さ3m以上の津波、満潮時に2mを超える浸水の危険がある、などが基準です。静岡県は、全市町村が今回も組み込まれ、これまで以上に、防災体制の整備が図られます。
 阪神・淡路大震災から8年。人々の記憶から、痛ましい被災現場が消えていく中で、この強化地域の拡大は改めて、東海地震発生時の被害の大きさを示した、と言えます。プロジェクト東海・倒壊「ゼロ」は、阪神・淡路大震災での死者約6,400名の内約8割の方が倒壊した住宅家屋で被災。特に、昭和56年の耐震基準法の法改正以前に建設された木造住宅による倒壊です。法改正以

前の建物とは、筋交いの入った壁の量が少ないなどです。被災者、特に死傷者を少しでも減らすには、この老朽化した木造住宅の耐震補強が必要と言つことになり、全国的に震災対策の有力施策として、住宅の耐震補強の大切さが強調されています。

倒壊ゼロへ向けた耐震診断

地震先進県といわれる静岡県では、早く、老朽化した木造住宅の耐震補強対策として、プロジェクト東海・倒壊「ゼロ」を立ち上げました。昭和56年5月31日以前に建設された一戸建て木造住宅は県下で約60万棟。この60万棟を対象にまず調査表、我が家の耐震診断」として自己診断してもらつ。自己診断結果の総合評価が15未満の住宅については、市町村の窓口に出る。老朽化がひどいものについては、県が要請し登録した、静岡県耐震診断補強相談士を無料で派遣し、診断相談にあたる。必要であれば耐震補強、防災グッズ・公営住宅への住み替えを進める、というものです。

相談士とは、建築士やベテラン大工の方で、県の指定講習会を受け、登録されている方です。また、派遣されると、専門家の目で、詳しい診断を行い、診断結果は、これなら安心でしょう。家は少し傾くが、つぶれないでしょう」と分かりやすく助言します。また、高齢者宅では、室内の落下物対策や、安全な住まい方をアドバイスします。今年度からスタートした補助制度は専門家の診断結果が07未満とされた住宅について、一棟当り30万円当りを上限に補助するとしています。とりあえず今年度から18年度までの5年間で、目標棟数は一萬棟。また、工事にあたっては、低利融資制

管内の耐震取り組み状況

(戸)

	改正以前の老朽木造住宅-概算	耐震診断完了、及び見込み	14年度予定	14年度補強工事対応
袋井市	7,396	520	100	10
磐田市	10,815	582	300	補正対応
掛川市	10,227	600	1,500	50
大須賀町	2,326	118	250	補正対応
浜岡町	4,064	200	110	5
小笠町	2,181	225	50	10
菊川町	7,486	530	530	補正対応
大東町	3,916	200	200	20
森町	4,220	200	200	未定
浅羽町	2,402	126	300	補正対応
福田町	2,682	93	50	未定
竜洋町	2,989	100	100	補正対応
豊田町	4,399	115	100	未定
豊岡村	2,413	50	10	補正対応
合計	67,516	3,659	3,800	95

地震に備えて耐震補強をしましょう

プロジェクトTOUKAI-0

耐震補強の第一歩は、自宅の耐震性を知ることです。「わが家の耐震診断調査票」で、耐震診断をしましょう。

総合評価が1.5未満の方は、専門家に見てもらいましょう。調査票を市町村役場に提出すると

「静岡県耐震診断補強相談士」が各市町村から派遣されます。

専門家診断の結果、総合評価が0.7未満と診断された住宅は耐震補強等の補助制度が利用できます。

わが家の耐震診断調査票

プロジェクトTOUKAI(東海・東海)-0

「わが家の耐震診断調査票」を診断しましょう。

以下を参考に記入下さい。お手紙にて郵送下さい。

1. 調査票を記入し、市町村役場に提出して下さい。
2. 市町村より「耐震診断相談士」が派遣されます。
3. 「耐震診断相談士」が自宅に訪問し、耐震診断を行います。
4. 診断結果に基づき、耐震補強のアドバイスを行います。
5. 必要に応じて、耐震補強の補助制度を利用することができます。

このサービスは、市町村の財政負担を軽減し、市民の安全と安心を確保するために実施されています。

度・静岡県個人住宅建設資金東海 ゼロ型を利用できるというものです。

袋井土木管内・対象は6万7,000戸 予算措置進む

袋井土木管内をみると、56年以前に建設され、老朽した木造住宅は6万7,516戸と見られています。県防災局が概算で集計した数字では、磐田市が1万800戸、掛川市が1万200戸、袋井市が7,400戸、町村では菊川町7,500戸、森町4,200戸、豊田町4,300戸、浜岡町4,000戸、大東町3,900戸等となつていきます。(注・表参照)このうち、昨年度から進められている耐震診断が済んでいるのは約3,600戸と見られ、このうち3市を見ると掛川市の600戸、磐田市の580戸、袋井市の520戸と、約半数程度の耐震診断が完了しています。町村では菊川町の530戸、小笠町225戸、浜岡町200戸、大東町200戸、森町200戸と続いています。各市町村によつて、バラツキがあるものの、順調に進

んでいることを示しています。しかし、まだ全般的に一刻にもなつていないことから、各市とも今年度耐震診断予算を編成、PRに努めています。

今年度を見ると、掛川市の1,500戸を筆頭に、磐田市が300戸、袋井市が100戸の予算を組んでいます。町村のうち、菊川町では13年度に積み残した分を含め760戸の予算を組んでおり、浅羽町の300戸、大須賀町250戸などと、予算を組んでいます。すべての市町村で耐震診断予算を編成し、前年度並みの3,800戸の診断を予定しています。今年度から積極的な診断を進める予定です。

また、今年度からスタートした補強工事への補助制度を実施する市町村は掛川市50戸、袋井市10戸、大東町20戸、小笠町10戸、浜岡町5戸の2市3町となっています。今年度予算措置に間に合わなかったとして、磐田市はじめ、森町、浅羽町、福田町、竜洋町、豊田町、豊岡村についても、補正予算での追加や来年度以降、予算化するよう準備を進めています。

ただし、補助額30万円の市町村による上乗せは、今年度大半の市町村で見送られ、県補助額だけのスタートとなつていきます。補助制度への上乗せは、厳しい財政事情からか、見送られているのが現状です。

袋井土木管内では、今年度にはいって、補助申請への問い合わせはあるものの、まだ、融資が決定し工事に着工したというケースはないようです。老朽住宅の耐震診断が進められる中での活用が期待されます。

2 年 月 日、東海地震発生。その時、倒壊による死者ゼロ。予想される東海地震に向けて、いろんな対策が打ち出されています。耐震補強への動きは、建設業にたずさわる我々にとって、プロとしての自覚が問われているといつても過言ではありません。地域に根ざし、地域住民と同じ目線で建設業の意味合いを理解していただく、いい機会といえます。会員の積極的な発信を期待しています。



(社)袋井建設業協会も災害協定いざ、の時に準備

「袋井建設業協会も、もしもの時に」国土交通省、県と災害協定を締結しています。昨年12月27日、国土交通省浜松工務事務所と、また、袋井土木事務所とは平成8年3月に、企業局中遠事務所とは平成9年2月にそれぞれ、締結しています。応急復旧対策や資機材の提供、公共施設の機能確保、仮設住宅の建設、交通整理支援など緊急時の支援を行います。協定を締結することについては、防災体制の一角を担うことであり、いざ、というときは協会あげて取り組まねばなりません。これまでも、災害復旧の第一線で活躍していますが、緊急時の連絡体制、機材、資材の確保、人員の確保など常日頃からの訓練も大切です。関係官公庁と連絡を密にして、体制を整えています。



建設 STATION

平成13年度 美登里元天神線道路改良工事(その1)



工事内容

工 事 名 平成13年度 美登里元天神線
道路改良工事(その1)
発 注 者 磐田市役所 道路河川課
請負金額 ￥97,693,050
施工延長 約500m
施 工 者 石川建設株式会社



工事ひとくちメモ



石川建設株式会社
現場代理人：杉本達治さん

本工事は、県道横川磐田線(インター線)と県道磐田山梨線を東西に結び、両側3mの歩道を含め総幅員18mの道路改良工事です。

磐田バイパス、東名高速道路への大型車両のアクセス道路として非常に交通量が多いため、終日の片側交通規制は難しく、左側半断面を盛土し仮設道路として使用している間に右側半断面を完成する方法をとりました。左側には水道の本管を施工する工事

も並行して行うため、実際の工程は厳しいものがありました。

安全施設を設置してあるもののすぐ横を大型車両が走りぬげる状態での施工で、夕方には、延長が長い為、安全施設の復旧、点検が大変でした。幸いにも、事故も災害もなく無事完成したことで苦勞が報われました。

最後に、近隣の方々のご理解と工事に携わった皆様に感謝します。

魚しげ 街の おすすめ ショップ



店舗外観

「お客様に落ち着いて、新鮮なお魚をゆっくり味わいながら食べていただきたいと考え、完全予約制をとらせていただきました。掛川インターから走ること五分、車で走っていると見過ごしてしまいそうな一角に、この四月十日、魚しげさんがオープンしました。遠州灘で取れた新鮮な魚介類をメインに、季節の食材をふんだんに使った会席料理が中心。ご主人の心がこもった料理と、木造の落ち着いた雰囲気の中で、気軽に会席料理が味わえるとあつ

て、早くもリピーター客からの予約も入っているといえます。

「ご主人は、この近くで永年、魚屋さんをやっていたこともあり、新鮮な魚の目利きはプロ級。訪れたその日も、市場で仕入れてきた太刀魚、イサキを前に、夕方の予約客用の仕込み中。「新しい店を持ちたい、できれば普修行を積んだ板前の腕をいかせたら…」と一部魚屋さん兼用の会席料理店をオープンさせました。

店内はぬくもりのある木目調に仕上げられ、床はフローリング、天井は吹き抜け。窓からはミニ庭園がのぞけるようになっていて、ゆっくりとくつろいで食事ができます。席はテーブル席二十席程度。小グループでの打ち合わせ、会食に利用していただきたいこと。

完全予約、というと敷居が高い料理屋さんと思われがちですが、「こういうローカルなところですので、手軽な料金で美味しい料理を召し上がってもらおう、とお客さんの希望に合わせて料金を設けています。お気軽にご相談ください」とご主人。

奥さんと二人での「アットホームな対応を心掛けています。」というように入口階段には、季節の花小鉢が控えめにおいてありました。

正面右には、一部魚屋さんも営業、新鮮な魚介類だけでなく、小あじを使ったマリネ等手作り惣菜も販売しています。



掛川市板沢498-1
電話0537-247522
掛川インターより車で5分
完全予約制のため
料金・時間は相談に応じます
駐車場4台他

内助の功 (会社紹介)

株式会社藤本組

代表取締役社長夫人 鈴木京子さん



昔

ご主人の俊光氏は、大学卒業後昭和47年に中村建設に入社、そこで建設業のイロハを勉強後、昭和49年に(株)藤本組に入社。その当時奥様京子さんは、まだ学生でした。

今



出合いのキッカケは、俊光氏が中村建設での修行時代に、奥様の実家の前を工事をしていて、その工事の現場担当者がたまたま奥様の自宅に電話を借りに来たことが最初で、当時同じ寮に住んでいた俊光氏に「いい子がいるんだけど…」との話が!?

まもなく現場担当者が中を取り持ってくれて、交際がスタート。奥様のご主人

への第一印象は「おとなしい、物静かな感じだった。」、一方ご主人は「明るい女性。」だったそうです。

その後2年間のおつきあいの後、昭和50年4月23日にめでたくご結婚されました。結婚当時のことを振り返ってもらうと、「なんて田舎へ来てしまったの!」、「近くにスーパーマーケットがなくて買い物できない」と話していました。ホームシックにもなっていたそうです。(笑)

そんなお二人も夫婦生活28年目に入り、男の子供さんが3人。長男の教郎君は藤本組に入社、今須山建設へ出向社員として現場修行中。次男の祥哲君はフジヤマに就職、今年の2月2日に結婚され新婚ほやほやです。三男の成嘉君は国士館大学工学部土木工学科の学生と皆さん立派にご成長されました。

奥様は、現在藤本組の総務部長として活躍中。今後は、時間が取れることなら、昔映画で見た「スイス」へ行ってみたいそうです。

ご主人への要望としては、「とにかく健康第一で仕事をがんばってほしい!!」とお話になりました。



会社紹介

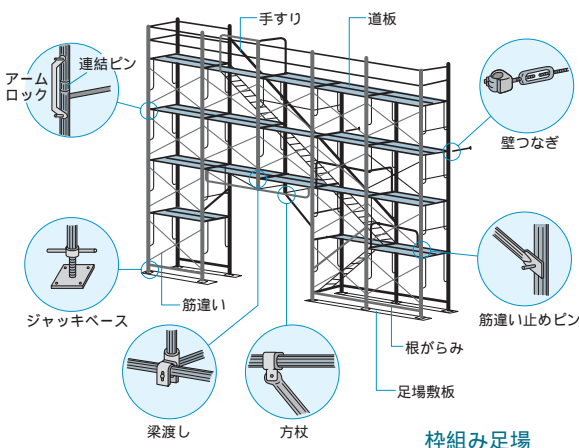
創業 / 大正14年3月1日
法人化 / 昭和28年8月13日
資本金 / 2,040万円
従業員 / 46人

アンテナ

足場(あしば)

今回は建築工事現場での仮設外部足場について紹介します。

建築現場等で作業員の通路や作業床として構築する仮設設備のことで、使用材料により丸太足場・単管足場・枠組足場などがあり、構造によって本足場・一側足場などがあります。また、使用目的によって外部足場・内部足場・吊り足場・養生足場と分けて呼ばれています。各部の名称は次のとおりです。



またこの外にも移動足場・脚立足場・地足場・抱足場・棚足場・ねこ足場・張出し足場等、構造や使用目的によっていろいろな呼び方がありますので興味のある人は調べてみてください。

未来の声



静岡県立大学 袋井市 33歳
静岡県裾野市出身
杉山和也さん

情報システム科に通う学生です。今回、「ビルダースポイス」に寄稿をということで、社会資本の充実に対する私の意見を述べたいと思います。

航空網、道路網、鉄道網、公共施設、治山治水等、昔からいろいろな人たちがいろいろな関わり合いを持って、私たちの生活が良くなる様にと一生懸命に取り組んできました。

時には、地域のために私的財産をなげうつまで、治山治水に取り組んだ方もいました。

おかげさまで、安心な生活が出来るようになりました。しかし、まだまだです。というのも、私たちの生活はすごいスピードで変化し、進化していますから、それに併せて変化していってやらなくてはなりません。せっかく整備された道路なのに交通事故が多発したり、地域住民の生活が分断されて不便になったり、40年も前の河川改良の計画を実行し、魚はもちろんのこと小動物までも生きていけないような環境を作ることやめてほしいです。

小泉内閣になって、公共工事不要論なる意見が物議を醸し出しましたが、そんなことはありません。大都市の一部を除くほとんどの地

学校紹介

静岡理科大学



校舎外観

域では、社会資本の充実はまだまだです。無理・無駄のないしっかりとした先を読んだ計画を立てていただいて、実行していただきたいと思えますし、今や情報化社会です。ハード面だけでなくソフト面でも、もっともっといろいろな情報を集め研究してほしいと思います。

「地域の商業中心地どうしを結び、すべてアーケード化された動く歩行者専用の道路を何本も作り、周辺に住宅や公園や学校を配置する。」などは、いかがですか。もちろん、車両用道路は2次的存在です。

袋井市にある学校法人静岡理科大学は、平成3年にものづくりの遠州地区に、心豊かな人材を育成し、地域に貢献する学生を送り出そうと、開学しました。遠州の人々の持つやまが精神。この地域では、豊田佐吉はじめ本田宗一郎等世界的企業家を多く輩出しています。その熱いものづくりへの情熱を受け継ぎ、新しい時代の情報・科学技術を担う人材を育てよう、を合言葉に10年近く、すでに300名近くの卒業生が、遠州地区を中心にものづくりの最前線で活躍しています。

大学の特色は、理工系の単科大学ではあるものの、工学系、理学系を融和させ、小粒ながらもいわばハイブリット大学としてスタートしています。学科は、機械工学科、電子工学

科、知能情報学科、物質科学科の4学科から構成。大学院として、システム工学専攻と「材料科学専攻」から成る、理工学研究修士課程が開設されています。入学した時から、実践を重んじ、ものづくりや実験を自発的に行うよう奨励。教科書のまる暗記からは、何もないものは生まれたい、をスローガンにまず実践、実験を、という姿勢を徹底しています。

カリキュラムではまず、初期導入教育で自分を発見。クリエイティブ教育で創造の喜びを、そして体験型実践教育で創造力・実行力・責任感を養ってもらうと、3段階のプログラムを設定しています。

まず初期導入教育では、自分のやりたいことはなんなのかを発見させ、モノづくりのおもしろさ、そして、心のそこから湧きあがる感動や不思議の心を体験させています。クリエイティブ教育のステップでは、学生の自由な閃きと夢を実際に体験するためのプログラムを用意、自分の閃きを形にするための創造力を養います。クリエイティブサークルもあり、電気自動車サークルや、モーターサイクル研究会、ロボット研究会などに所属し、勉強するのもよし、新たな課題を提案しチャレンジするのもよし、とにかく閃きをカタチにするための創造力を養います。

そして、最後の体験型実践教育。ここでは体験を夢につなぐインターンシップと卒業研究です。各企業との5〜20日の短期研修を通じて、実践力を養い、社会への視野を広げ、自分は何に適しているのか、将来の進路を考えさせます。4年生になると1年間を通じた卒業研究が待っています。厳しく丁寧な教員指導のもと、卒論をまとめ発表です。

あきらめずに、挑戦し実行する。遠州の、やまが精神を受け継ぎ、チャレンジ精神旺盛な中堅技術者を社会に送り出しています。SIST スピリットが着実にこの地に育っています。

時評 THE VOICE

今がチャンス!!

2002年度、建設投資が5.4%減の57兆1,300億円になるだろうと予想されている。今後は建設市場の縮小に伴い地方の中堅中小業者も再編淘汰が迫られる。建設投資が縮小し企業間の競争激化は避けられず、企業は生き残りをかけた経営基盤強化に迫られ市場の縮小はすべて企業に影響を与えられる。

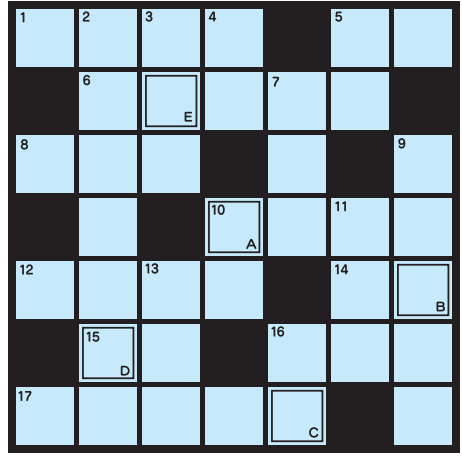
このような不況の時こそ、企業のびるチャンスではないかと考える。人間は本当に自分が困っている時ほど力がわき、又知恵が出るものであると思う。不況はぜい肉を取るための注射であり、今より健康になるための薬であるから、いたずらにおびえていないで、不況難局こそ何が正しいかを考える好機と思う。かつてない困難、不況からは技術、宣伝、営業にもかつてない革新が生まれると信じる。そして革新が今がチャンスだ！革新に向かって突き進もう。

(Y・W)



第49回 クイズ コーナー

川柳クロスワード



解き方

A・Eの5文字を空所に入れて、つぎの川柳を完成させてください。

川柳

休日ば 予定で埋まる

ヨコのかぎ

① かつてアメリカがロシアからわずか720万ドルで買った土地。

⑤ メキシコ、アルゼンチンなどの通貨単位。

⑥ 主として外国人向けにお土産を売る・ショップ。

⑧ それは確かに のエピソードである。

⑩ 団体スポーツでは、この人の手腕がチームを強くしたり、選手に自信をもたせたり。

⑫ 小説、映画などの男性の主人公です。

- ⑭ 女性が私の 「と言えば恋人のこと。」
- ⑮ 将棋や囲碁などの上手な人に与えられる
- ⑯ 日本は の乏しい国。
- ⑰ プロ野球公式戦などの試合方法。



タテのかぎ

- ② 閉店前、最後の注文取り。
- ③ ボーナスイで を一着新調するかな。
- ④ 新人が暫くすると にぶつかる。
- ⑤ 彼女との ルック。
- ⑦ A地点とB地点を結んでお送りする
中継。



- ⑨ モウイカイ? 「マターダヨ」とやる遊び。
- ⑩ 自動車など車のこと。
- ⑪ 尻尾を切られても平気、
また生えてきます。
- ⑬ ゴルフで ・ホールといえばパー5で、431メートル以上のホール。
- ⑯ リングなどの中心にある。

応募方法

官製ハガキにクイズの答えと住所・氏名・年令・電話番号・勤務先(学校)名と必ず近況・感想などをご記入のうえ

〒437 0024 袋井市三門町11の12
袋井建設業協会内 広報部会クイズ係
あてにお送りください。

締切

平成14年8月15日到着分

発表

「ビルダーズ・ボイス」50号紙上にて

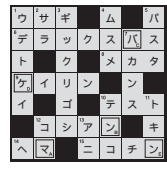
賞品

正解者の中から抽選で、2名様に各々2千円の図書券をプレゼント。但し、近況「感想」が記入されてなければ無効とします。

第48回クイズ当選者

平尾依味香様 掛川中央小学校6年生
望月 美穂様 県土木部勤務

前回の正解



答え
マンパケン

読者通信

私も、おねーちゃんもバスケットをやっています。この間この表紙にポツンポツンと見に行った時の写真が写っていました。どうもありがとうございます。今度大池にもBGのスポーツセンターで、バスケットができるようになります。楽しみにしています。

平尾依味香様 掛川市・小6生)

48号の表紙のエコパ・アリーナでのシャノンvsジャパンエナジー戦の事を書いてくれたと思いますが、小生も観戦しました。初めてナマで、それもすぐ近くで観れたので迫力に圧倒されました。表紙の写真に小生が写っています。左側一列目で足を組んでいる白っぽい服装です。

W杯が近づいて、あちこちで色々準備が進んでいます。さて現実はどうな混雑になるのか、どんな交通状況になるのか期待よりも不安(?)の方が大きいような気がします。エコパで日本代表のゲームがあればいいのに……。

横山 正子様(掛川市在住・50才)

郷土づくりに

さくがわ

菊川町の 土地区画整理事業

菊川駅南地区



宮の西地区

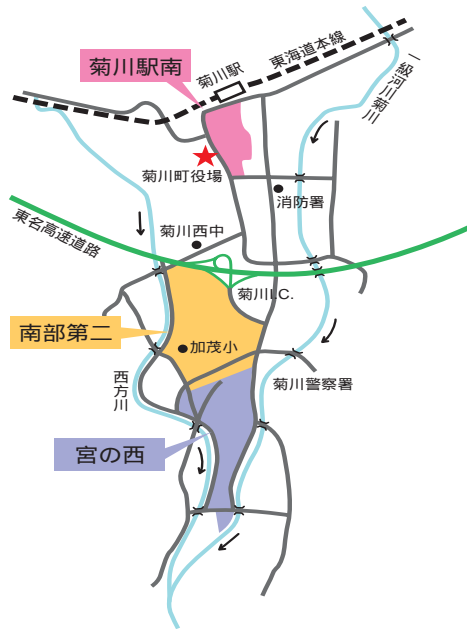


菊川町の土地区画整理事業は、現在公共団体施行1カ所、組合施行を2カ所実施しています。公共団体施行の菊川駅南地区(13.6ha)は、1889年の堀之内駅(現在の菊川駅)の開駅を期に、町内の商業拠点及び住宅地として、無秩序に市街化が進行した区域です。このため車社会に対応すべく平成3年に工事着手し、基盤整備も順調に進行すると共に、建物移転・移転対象399戸(も8割に達した今日、中心市街地にふさわしい街並みが形成されつつあります。

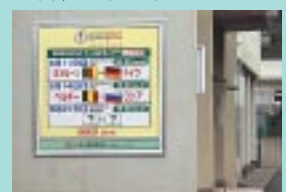
組合施行の南部第二地区(40.8ha)は、東名菊川I.C.の南に位置しているため、交通の利便性と車社会の進展により、急速に住宅化が進行した区域です。平成3年に事業着手し11年が経過した現在、事業も終盤に入り新市街地としての土地利用が着々と図られています。

平成11年1月に組合を設立した宮の西地区(30.7ha)は、南部第二地区の南側に隣接し、一級河川菊川と西方川に挟まれた地域です。地区の南には近接して公共下水道事業の終末処理場が計画され、地区内の都市計画道路には幹線管梁の埋設も始まり、さらに地区西側を流れる西方川の改修工事も区画整理事業との整合を図りつつ、県施行により進められています。従って、当地区周辺では区画整理事業のみならず、治水の向上と環境整備を含めた事業が展開され一日も早い完成が望まれています。

菊川町の土地区画整理事業は、完了及び施行中共に県内の町村ではトップクラスであり、今後とも土地区画整理事業により整備を推進したい地区もあります。しかし、近年の社会情勢の急変により、財政面はもとより保留地処分等非常に厳しい状況の中において、現在施行中の地区を少しでも早く完成すよう取り組んでいます。



わが袋井建設業協会も、壁にW杯の看板を掲げ、応援をしていました。5月31日の開幕以来、世界各国の強豪チームが日本と韓国で熱い戦いを繰り広げ、去る6月30日、激戦を戦いぬいたブラジルが頂点に立ちました。優勝おめでとうございます!



われらのミッション



掛川市役所・市民課 市民係事務員 渥美 祐子さん(21才)

この春、私は県外の法律専門学校を卒業、憧れていた掛川市役所に就職し市民課の窓口業務を担当することになり、無我夢中の1ヶ月余りが瞬く間に過ぎてしまいました。はじめて与えられた仕事は、戸籍・住民票等の交付や印鑑登録・証明書の発行そして、婚姻・転入・転出届けなどの業務です。

その他にも窓口での仕事は様々な相談を受けることも多く、市民との関わりが身近な職場だと肌で感じている今日この頃です。笑顔を絶やさず快い接客を目指し、お客様の相談にも直ぐ応じられるようにいろいろな業務を覚えなければなりません。そのため毎日毎日、焦りが募るばかりですが、あせりの中にも私が仕事を楽しいと思えるのは、上司や先輩の方々に恵まれていると言つ支えがあるからだと思います。今の段階では、業務の全てをこなすことは到底できませんが、これからは着実にひとつづつ覚え、窓口業務の基本理念として「親切迅速丁寧」に心掛けていきたいと思っています。これからは、一日も早く市民の皆さんの役に立てるよう頑張りますので、今後共よろしくお願ひ致します。

表紙のことば

建立から100年たち、老朽化などで今春、西へ約1キロ移転した掛塚灯台。青い空と遠州灘をバックにそびえ立っています。写真の左下には、御前崎から浜松まで続いている太平洋岸自転車道も見えます。灯台の移転先周辺には近く世界最大級の風力発電施設がお目見えする予定で、観光のメッカとしての期待もふくらんでいます。

